

ハミング



No.79

2017.5.30

基本理念

本院は診療・教育・研究を遂行する大学病院としての使命を有し、また患者さんの人権を尊重した先進的医療を行うとともに、次代を担う国際的な医療人を育成する。



「変わらぬ美しさ」

撮影：谷口正洋

撮影場所：白馬・落倉自然園にて

主な記事

- | | | | |
|---|-----|--|---|
| ● 病院長挨拶 | 2～3 | ● 3店舗の「専門店」が
お迎えする・レストラン「ソレイユ」! | 7 |
| ● 新戦力! ～新規職員紹介～ | 4～5 | ● ご意見箱からの声 | 7 |
| ● 科学で解き明かす栄養 Evidence-based Nutrition | 6 | ● 電話番号表・編集後記 | 8 |

本郷一博前病院長の後任として、平成29年4月1日付で病院長に就任しました本田孝行です。昭和56年に信州大学医学部医学科を卒業し第一内科（現呼吸器・感染症・アレルギー内科）に入局しました。平成6年に臨床検査医学教室（現病態解析診断学）に移り、平成20年から信州大学医学部附属病院（信大病院）臨床検査部長を兼務しています。したがって、臨床検査医学と呼吸器内科学が専門になります。臨床検査医学は、血液検査、尿検査、細菌検査、遺伝子検査、病理検査および生理検査（心電図、呼吸機能検査、心臓超音波検査など）などの検査を行うことにより、患者さんの病態を正確に把握し、診断および治療に役立てる医学です。

信大病院には707の病床があり、平成26年の1年間に延べ22万人の入院患者さんと、延べ39万人の外来患者さんの診療を行いました。医師599名、看護師784名を含む約1850名の精鋭医療スタッフが働いています。特定機能病院の他、災害拠点病院、都道府県がん診療連携拠点病院、高度救命救急センター、地域周産期母子医療センター、長野県災害派遣医療チーム（長野県DMAT）指定病院、難病医療拠点病院など23の指定を受けています。特定機能病院は、高度医療の提供、高度医療技術の開発及び高度医療に関する研修を実施する能力等を備えた病院として制度化され、平成28年9月1日現在全国で84病院が承認されています。多くは大学病院であり、信大病院は長野県で唯一の特定機能病院です。

現在、国は“地域医療構想”を進めています。各地域における病院、診療所等の役割分担を明確化し、各医療機関の連携を密にし、病院診療から在宅医療まで切れ目のない医療を提供する試みです。役割分担を明確化すれば、各段階においてレベルの高い医療を低コストで提供できるため医療費削減にも繋がります。信大病院は、長野県で最も多くの専門診療科を有し、専門性の高い疾患の診療が役割と考えています。他医療機関にて診断

もしくは治療が難しいと判断された患者さんが多く来院されています。特定機能病院はそのような入院患者さんの治療を主体に行うため、外来診療の負担を軽減させるという国の意向が働いています。したがって、当院の外来を初診される場合、かかりつけ医の紹介状が必要になります。紹介状がない場合は、申し訳ありませんが別途自費料金5,400円をお願いしています。

信州大学医学部附属病院

病 院 長 挨 拶

本田 孝行

ところで、医療費に消費税がかからないことをご存じでしょうか。医療費の支払明細書を見ていただくとお分りになると思いますが、支払明細書の消費税欄に金額は計上されていません。平成26年4月に消費税が5%から8%に上がりましたが、患者さんのお支払い金額は変わらなかったと思います。支払われる医療費に消費税がかからないことは、医療機関にとっては大きな収入減となり病院経営を圧迫する要因となっています。病院が薬、医療材料および医療機器を購入する際は消費税を支払わなければならないからです。消費税

の増税後、大学病院をはじめとする多くの病院で医療機器の購入（いわゆる設備投資）が思うようにできなくなっています。高度な診療体制を維持するため、どうしても診療以外の経費削減を考慮しなければなりません。今後、皆さまにご不便をおかけすることがあるかもしれませんが、引き続きご理解とご容赦をお願いいたします。



少し明るい話題に転じます。2007年に生まれ今年10歳になる子供たちが、何歳まで生きるかご存じでしょうか。日本ではこの子供たちの1/2が107歳を超えるとWHOが推定しています。健康寿命も大幅に伸びて、90代後半まで健康で生きられます。“人生1度限り”と言われますが、寿命的には異なった2度の人生を経験できる長寿時代が来ているようです。この長寿は、新しい治療薬と治療法開発の他に、検診や人間ドックの普及にも支えられています。健康は自分で維持するという考え方も重要です。信大病院の役割はどうしても高度

な診療の提供にありますので、患者さんの健康を維持する細やかな体制を取れないのが現状です。ぜひ“かかりつけ医”を持ち、長寿を楽しんでいただきたいと思います。

最近の医療の進歩は目覚ましく、移植医療が身近になり、有効な抗がん剤の開発により、がんも治療できる疾患になりつつあります。また、内視鏡手術の普及も著しく、ロボット手術と合わせて、短い入院期間でより侵襲の少ない手術を安全に提供できるようになりました。平成30年4月にオープンする「包括先進医療棟」ではさらに、病院機能を強化します。ハイブリッド手術室を含めた手術室拡充と機能向上により、難度の高い手術をより安全に行えるようになります。集中治療室も増室し、重症患者さんを十分にケアできる体制を強化します。また、産科および小児科が連携して診療にあたる病棟も完成し、より安心できる出産が行えるようになります。現在、県旭町庁舎にある信州がんセンター通院治療室も本棟1階に移転し、今まで以上に快適ながん治療が受けられます。

私の病院長としての役割は、信大病院の理念である“本院は診療・教育・研究を遂行する大学病院としての役割を有し、患者さんの基本的人権を尊重する先進的医療を行い、次代を担う国際的医療人を育成する”を実践していくことだと思っています。何か迷うことがあれば、この理念に沿えるかをまず判断し、一定の方向性を持ちながら信大病院を運営していきたいと思っています。今後も私も職員一丸となり、地域の皆さまに安心して受診していただけるような質の高い医療をご提供できるよう努力してまいりますのでご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。

新戦力！～新規職員紹介～

新年度になり、たくさんの職員が信州大学医学部附属病院に入職いたしました。そんな新規職員の抱負をご紹介します。みなさんといろんな場面でお会いするかもしれませんが、どうぞよろしくお願いいたします。



この春より薬剤師として信州大学医学部附属病院に勤務させていただくことになりました。薬剤師としても、社会人としても初めてのことばかりで不安と緊張でいっぱいですが、信大病院の一員として働けることを大変嬉しく思っています。

近年、薬剤師は、チーム医療の一員として活躍の場が広がっています。その中で私は、高い専門性やコミュニケーション力を身に付けて医療に貢献できる薬剤師を目指していきます。まだまだ未熟な私ですが、先輩方の指導のもと日々精進して逞しい薬剤師を目指しますので期待してください。

薬剤部 **西森 薫**

リハビリテーション部に入職しました新井瑠夏です。憧れであった言語聴覚士としての第一歩をこの信大病院で踏み出せたことを嬉しく思います。リハビリテーションは患者さんやそのご家族の生活に寄り添うものであり、言語聴覚士が担当する食事やコミュニケーションも、よりよく生きるために欠かせないものであると考えています。患者さんがリハビリを通して少しでも多くその喜びを感じられるよう、私自身もコミュニケーションを大切に、セラピストとしても人としても成長していきたいです。よろしくお願いいたします。

リハビリテーション部 **新井 瑠夏**



4月より臨床検査技師として臨床検査部で働き始めました。私は昨年まで2年間大学院生としてこちらの検査部で研究をしていました。そこで、臨床検査技師として活躍し、研究などにも専念する先輩の姿を見たとき、自分もそのようになりたいと思い入職しようと決めました。実際に入職し働いてみると、思ったようにはいかない毎日ですが、常に与えられた環境に一生懸命に取り組み、多くの人から得られる“学び”や“情熱”を大切にしていきたいと思います。さらに将来、検査技師として業務や研究面で成長し、病院や社会に貢献できるように頑張ります。どうぞよろしくお願いいたします。

臨床検査部 **衣川 康弘**



4月より長い間憧れていた助産師として勤務させていただくことになりました。不安や緊張もありますが、西4階病棟の尊敬する先輩方に指導していただき、日々多くの学びがあり、とても充実しています。お母さんと赤ちゃんの2つの命を同時に預かる助産師としての強い責任感を持ち、一人ひとりの患者さんに寄り添い、患者さんと家族の拠り所となる助産師になりたいと思っています。1日も早く一人前の助産師になれるよう、日々精進していきたく思いますので、よろしくお願いします。

西4階病棟 助産師 **辻 葵**



この4月より診療放射線技師として入職いたしました飯沼寛文と申します。私が大学病院の一人の医療従事者として心がけたいことは、多くの患者さんや共に働く医療スタッフの方と心を通わせた関係を築くということです。高度な医療を提供するために技能の向上を目指すことは当然ですが、それだけではなく日頃の挨拶や気配りを大切にした医療を実践できるように努力いたしますので、どうぞよろしくお願いします。

放射線部 **飯沼 寛文**

今年度より希望していた高度救命救急センターに配属となりました。重症度の高い患者さんが多く、不安と緊張でいっぱいですが、経験した技術や学んだ知識が自分の成長につながるようにと、毎日を送っています。諸先輩方の指導の下、同期と日々精進していくとともに、初心を忘れずに、患者さんとその家族の気持ちに寄り添える看護を行っていきたくと考えています。よろしくお願いします。

高度救命救急センター **高取 瑞気**



今年度より初期研修医として入職いたしました。今は何をすることも目の前のことで手一杯でご迷惑をおかけするばかりですが、先生方のご指導と他職員の方々のご支援のもと、何とか医療の場に立たせていただいています。この環境の中で少しでも多くを学び、そして初心と患者さん側の気持ちを忘れずに、今後この病院そして患者さんに貢献していければと思っています。これから院内でお会いした際は、どうぞよろしくお願いします。

臨床研修医 **高 裕信**

科学で解き明かす栄養 Evidence-based Nutrition

管理栄養士 高岡 友哉

第5回 食べられる量が減ったときこそ水分補給

新年度が始まり、バタバタとした日々が落ち着いて来たころでしょうか。梅雨が明ければあつという間に夏です。この時期に気を付けたいことといえば脱水症です。ご存じの通り脱水症を予防する方法の一つにこまめな水分補給が挙げられます。ところで、わたしたちは何から水分を摂取しているかご存じでしょうか。飲みものからだけだと思いますか？今回は水分の摂取源について科学的に見てみましょう。



1. わたしたちは水分を何から摂取している？

図1は長野県（松本市）、大阪府（大阪市）、鳥取県（倉吉市）、沖縄県（宜野湾市）の4地域に住む30～76歳の日本人男女（女性121人、男性121人）にお願いをして、合計16日間（春夏秋冬の各季節で4日間ずつ）の半秤量式食事記録調査をした研究の結果です。

食事記録を基に水分の平均的な摂取量を計算すると、飲みものから1日1100mL、食べものから1日1130mLとなりました。驚くべき事に、私たちは飲みものと食べものからおおよそ50%ずつの割合で水分を摂取していたことがわかりました。

飲みものと食べもの、どちらから多く水分をとっているのでしょうか？

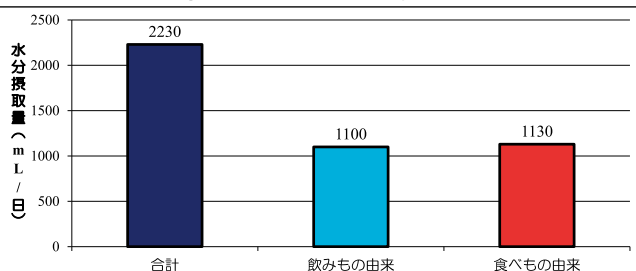


図1 日本人の食事由来の水分摂取源

(参考文献1より作成)

長野県（松本市）、大阪府（大阪市）、鳥取県（倉吉市）、沖縄県（宜野湾市）の4地域に住む30～76歳の日本人男女（女性121人、男性121人）を対象に16日間（春夏秋冬の各季節で4日間ずつ）にわたる半秤量式食事記録調査を用いて求めた平均水分摂取量の結果です。秋は2002年11月か12月、冬は2003年2月、春は2003年5月、夏は2003年8月か9月に調査を実施しました。

2. どんな食べものから水分を摂取している？

図2は食べものの由来の水分のうち、各食品群の平均水分摂取量の結果です。野菜と果物から多くの水分を摂取しているようです。ご飯や麺などの穀類由来の水分も思いの外あります。ご飯を炊くとき、麺を茹でるときに水分を含むことが関係しているそうです。確かに麺を長い時間茹でるとみずみずしい（伸びて美味しくない）状態になりますね。

どんな食べものから水をとっているのでしょうか？

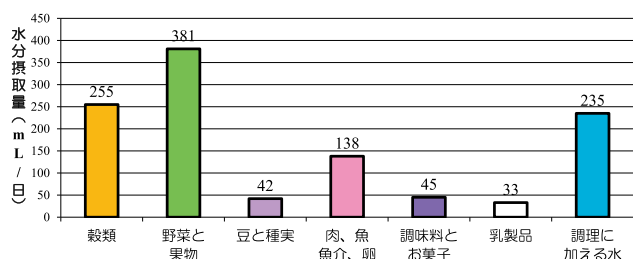


図2 各食品群からの平均水分摂取量

(参考文献1より作成)

各食品群は次の様に定義されています。①穀物：ご飯や麺など調理によって水を含むもの、②野菜と果物：野菜類と果物類の他、芋類、キノコ類、海藻類も含む、③豆と種実：豆類と種実類、④肉、魚、魚介、卵：肉類と魚介類・卵類、⑤調味料とお菓子：調味料と菓子類、油脂類、砂糖を含む、⑥乳製品：飲料として摂取する牛乳を除いた、食品に加える乳類、⑦調理に加える水：スープやブイヨン、シチュー、麺類の汁を作るときに加える水（例えば、味噌汁やラーメンの汁）。

3. 食欲がないときこそ水分補給を

日本人は食品と飲料からおおよそ半分ずつ水分を摂取していることがわかりました。つまり、いろいろな理由で食べられない日は水分の摂取量が極端に少なくなる危険があります。

特に、夏場の食欲が無い日は積極的に水分補給をしなければ脱水状態になる危険があります。食べられないときは果物や野菜、お粥、麺類など比較的水分が多くとれて喉ごしが良いものを食べることで脱水状態を予防出来るかもしれません。

【お詫びと訂正】

本コラム第4回（表）で、読解ミスによる誤りがありました。〈誤〉①焼酎 36 mL、②ビール 633 mL、③ウイスキー 10 mL、④ワイン 11 mL 〈正〉①焼酎 110 mL、②ビール 557 mL、③ウイスキー 66 mL、④ワイン 240 mLです。※Yokoyama A, et al. Carcinogenesis. 2002; 23:1851-9.に基づいて計算しております。日本食品標準成分表や各種資料を用いて計算した場合とでは誤差があります。謹んで訂正いたしますとともに、深くお詫び申し上げます。

■参考文献

1.Tani Y, et al. Eur J Clin Nutr. 2015; 69: 907-13.

3店舗の「専門店」が お迎えする・レストラン「ソレイユ」!



サンプル台の前で、お客様は呟いた。

「今日は、何にしようかな?」「寿司もいいし、蕎麦もいい」「ヒレカツとハンバーグもあるし」「うーん?スパゲティーもラーメンも捨てがたい!」「困ったなー、実に悩ましい」と…。

迷いと悩みはレジの前まで続く。人工知能ロボット・ペッパーが、元気よく「はい」と声を掛けると、「やっぱり今日は、日替わりランチにします!」と答えた。

洋食・中華専門のクロスカフェ、江戸前寿司の奴寿

司、信州そばの加治屋の3店舗は、いつも悩ましい手作りメニューで、お客様をお迎えしています。

肉・米・野菜は安心・安全な長野県産と国産品を使用しています。もちろん冷凍食品やレトルト食品は使わず、全メニュー“職人による手作り料理”がコンセプトです。プロの職人が、春夏秋冬を意識した**四季折々の日替わりランチ**も提供いたします。

ホール係は、調理師、栄養士の有資格者です。食品の説明や作り方はもちろん、車いすの誘導、患者さんの介助等にも丁寧にお応えいたします。**おもてなし**の接客で高齢者の方や車いす、小さなお子様連れのお客様に喜んでいただいています。

また年間を通し**お客様感謝イベント**として、5月の開店記念ランチ、ハロウィンランチに新蕎麦祭り、クリスマス大抽選会、バレンタインのチョコレートプレゼントや年2回のおはぎサービス等、数多くのイベントでお客様をお待ちしています。

これからも「お客様を悩ませる」レストラン・ソレイユを、よろしくお願いいたします。

「目指すは日本一の病院レストラン!! ふふふ。」と、ペッパーが笑顔で呟いた。

ご意見箱からの 声

Q 院内にあるシルバーカーやベビーカーが古かったり台数が少なかったりで使いづらいです

A 貴重なご意見をお寄せいただき、ありがとうございます。

院内に備付けのシルバーカーやベビーカーについて、古いものがあることや、台数が少ないといったご意見がいくつか寄せられております。早速院内で検討し、シルバーカー4台とベビーカー2台を正面玄関へ新規に配置しましたので、ぜひご利用ください。

また、今後も可能な範囲で不便な点を改善できるよう考えておりますので、ご理解のほどよろしくお願いいたします。



電話番号表 (市外局番 0263) 代表番号：35-4600

【診療科外来】

南 1 階	小児科	37-2776	南 3 階	眼科	37-2789	リハビリテーション部 (理学療法)	37-2836
	遺伝子医療研究センター			耳鼻いんこう科	37-2791		
	先端心臓血管病センター			産科婦人科	37-2793		
	循環器内科		北 2 階	皮膚科	37-2778	リハビリテーション部 (作業療法)	37-3399
	整形外科			消化器外科			
	脳神経外科			移植外科			
総合診療科	小児外科						
呼吸器・感染症・アレルギー内科	呼吸器外科						
消化器内科	乳腺・内分泌外科	37-2781		高度救命救急センター	37-2222		
南 2 階	血液内科	麻酔科蘇生科	37-2783	胸痛センター			
	腎臓内科	形成外科	37-2831	内視鏡センター		37-2803	
	脳神経内科	精神科	37-2846				
	リウマチ・膠原病内科	北 3 階	子どものこころ診療部	37-3381	臨床研究支援センター	37-3389	
	糖尿病・内分泌代謝内科		泌尿器科	37-2787	移植医療センター	37-2930	
	放射線科		特殊歯科・口腔外科	37-2796			

【医事課】

収入係	37-2763
入院係	37-2759
外来係	37-2757

【医療支援課】

患者サービス係 (診断書・労災)	37-2762
---------------------	---------

【病棟スタッフステーション】

西病棟		階	東病棟	
【先端心臓血管病センター】				
循環器内科	37-2777	8階	糖尿病・内分泌代謝内科	37-2769
心臓血管外科			乳腺・内分泌外科	
脳神経内科、脳神経外科	37-2774	7階	消化器内科、血液内科	37-2771
リウマチ・膠原病内科			腎臓内科	
皮膚科	37-2788	6階	【呼吸器センター】	
泌尿器科			呼吸器・感染症・アレルギー内科	37-2784
消化器外科、消化器内科	37-2782	5階	呼吸器外科	
移植外科、小児外科			眼科、脳神経外科	37-2790
産科婦人科	37-2772	4階	麻酔科蘇生科	
新生児科 (NICU・GCU)			小児科	37-2794
精神科	37-2775	3階	整形外科	37-2786
子どものこころ診療部				
放射線科、消化器外科、移植外科	37-2780	2階	耳鼻いんこう科	37-2792
小児外科、特殊歯科・口腔外科、RI			形成外科	
信州がんセンター、救急科				

くすりの相談室	37-3013	地域医療連携支援室	37-3370
総合医療相談室	37-3370	難病相談支援センター	34-6587
がん相談支援センター	37-3045	難聴児支援センター	34-6588
セカンドオピニオン外来	37-3111	肝疾患診療相談センター	37-2922
先端細胞治療センター (分子細胞診療室)	37-3220		



☆相談窓口☆

受付時間：月～金（祝除く）
9時～16時

編集後記

病院周囲の桜並木が多くの新入職員を迎え、心浮き立つ季節が過ぎ、早くも爽やかな新緑の季節となりました。今年度は325名の新規入職者を迎えることができました。病院全体でのガイダンスや部署ごとの講習なども済み、第一線で力を発揮されていることと思います。その中から、ごく一部ですが、新規職員紹介をさせていただきました。また、4月より新病院長が就任されました。新病院長のもと、職員一丸となって、さらなる患者サービスの拡充を推進したいと思います。

(医療福祉支援センター 横山 隆秀)

あなたの自慢の写真で「ハミング」の表紙を飾りませんか？ 写真を募集しております！

お名前・写真のタイトルをご記入の上、
byouin_soumu@gm.shinshu-u.ac.jp
へお送りください。
写真は 2MB 以上 5MB 未満の jpg データ

【お問合せ・応募宛先】

信州大学医学部附属病院 総務課 総務係
TEL：0263-37-3410 ※応募はメールのみ受付